

2017年3月25日発行

みなさん、こんにちは

平成29年度の一年間、町のおこなう事業や私たちの暮らしに直接関係のあるさまざまな取り組みについての予算が決まる3月議会が終わりました。

もちろん、これからの1年間の動きの中では、必要なものには「補正予算」という形で事業が加わっていくこともありますし、その時々に必要な対応について、議会で審議されていきます。

私たち住民からの税金・利用料などが全体予算の30%（くらいかな）を占めています。そのほか地方交付税（国からの税金）が全体予算の40%を越えています。

今回の議会でも、人口減少がこれからの町の大きな課題になっています。

魅力あるまちづくりが、この町に暮らす人を増やすことにつながるはず・・・それらを期待した事業も多く取り組まれています。そんな3月議会で決まったこと、変わったこと、話し合われたことなど、議会の様子などについて私の意見や考えも含めてお知らせします。

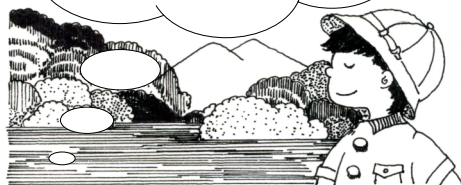


キタキツネ・これからよく目にする季節です。でも、野生動物です。くれぐれも餌付けなどしないように。野生の彼らは、美しい動物ですよ

みなさんは、どう思いますか？以前から知床半島基部としてすばらしい景観を活かした利用計画などもありました。町民も利用できる、スッキリコンパクトな温泉施設だって良いはずですよ。いろいろ考えられる！



楽しみ方っているいろいろあって良いと思う。のんびり広がる風景を楽しんでくつろぐ旅だって価値あり！



ウナベツ自然休養村のこれから

町の公共施設等の管理計画の中では、休養村は「除却を含め、2年以内に方向性を決定する」とされています。そのため、今回は「基礎調査」が計上されました。（195万円）

利用実態と維持管理経費の分析
事業費の検討
などが行われるようですが・・・

斜里町全体の地域活性、さらには斜里町内の観光エリアを考えた場合、この峰浜地区はとても重要なポイントになると思います。調査内容を見ると、維持管理費、改修費用、町民の利用、代替え施設等の検討内容です。（この地域を含めた価値の発掘、利用が見えない・・・）

現在、行われている「観光ブランディング事業」では観光に来てくれる人達のターゲットを絞るなどの取り組みも行われています。広がる裾野、天に続く道、スキー場、高原、そして冷泉とは言え、貴重な泉質の温泉です。さらに、小さいけれど新しい起業が起り始めている地域です。

ぜひ、この景観を活かしエリアポイントの価値を活かせるような今後の取り組みを休養村として考えるべきではないかと思っています。という考えを、議会では発言しました。

平成29年3月の議会 いろいろ



・ 町では「ことしの仕事」を発行しています。詳しい事業内容はそちらを確認してください。ここでは、そのいくつかの事業について、さらに良い事業になるように、あるいは詳細、背景などについて桜井が質問したこと、考えたことなどを紹介します。

・ 斜里テレワーク事業のさらなる促進のために地域おこし協力隊を募集採用するそうです。以前、2013年6月議会で私もこの事業制度を斜里町でも利用しては？と一般質問しました。4年たったの取り組みです。近隣町村では、10名を越える協力隊員が現在はそれぞれ起業、就労されている地域もあります。

人がつながる力は、時に新しい動きをもたらします。

これからの展開に期待したいですね。

ウトロ地区にテレワークセンターの開設も計画されているそうです。

たとえば、子育て中の人たちが来てくれると良いですねー



・ 子育てしやすい環境が進んできたと思える取り組みが目立ちます！前年度で計上されていますが、児童館が、改修、増築されます。今までよりも広く、使い易い施設になります。昨年、改修されて運営の充実が計られてきた児童館が、さらにスキルアップします。（事業予算は1億3千万くらい）

・ 今までは取り組まれていなかったウトロ地域の乳幼児と保護者が利用できる遊び場、交流スペースも解放され、指導員も配置されます。

・ さらに、妊産婦安心出産支援として、医療機関への通院費の助成が実施されます。斜里から網走、あるいはウトロから斜里、北見などへの交通費の助成。助かりますね！

・ また、厚生労働省で勧めている「ファミリーサポートセンター」開設の準備も始まります。地域の助け合いで動いて行く事業です。



・ 災害時などに活用できるWi-Fiの設置箇所が増えます

前回41号のレポートでウトロ支所への設置をお知らせしました。今回は役場庁舎・学校・ぼると21などに整備されます。災害時にはフリーで接続されますが、普段の利用はメールアドレスによる認証方式です。ゆめホールなどでは会議や集まりでも活用されていますね。情報セキュリティ保持も考慮された設置だそうです。



・ しゃりぐる 地域への交通助成

試験的な運行を通じて、利用者の声をひろいながら改善や運行方法を改良してきた「しゃりぐる」です。利用者は増えています。どんどん増えていくものではありませんが、確実に町内の人々の足として利用されていることは良いことです。これからも、積極的な利用を呼びかけて行って欲しいです。

70歳以上の運転免許を持っていない人へのタクシーや路線バス運行も利用者が安定してきました。一方で、冬期間だけでも運転を控えたい、と言う方もいらっしゃいます。高齢者の運転免許返納は地域性を考えてもなかなか難しい課題です。事故をなくす、減らすことが一番の目的ですから、ぜひ、季節的検討、あるいは70歳以上全ての方を対象にと言う検討もして欲しいです。



・ 町の広報「広報しゃり」のページ数がふえます！

斜里の広報って折り込みのチラシがすごく多いですね。みなさんからそうした声を聞いていました。今回は、お知らせや情報についてある程度集約できることも含めて、ページが増えることになりました。読まずに捨てている？と言う人もいるそうですが、（私はあまり聞いたことがないのですが）今まで以上に読みやすい紙面になるはず



新年度予算について 桜井の総括的な質問は 大きく以下の3点でした

・ 観光と地域価値の掘り出しと 人が来るまちづくり

□観光に関係する取り組みの視点は、決して観光だけではなく、みんなの暮らし方にも関わってくることでと思います。

そのためにも、公共施設等のこれからの活用も、そうした将来を見据えた取り組みを視野に入れて検討して行かなくてはなりません。観光の動きが、農業、漁業にもつながるし、人の動きや移住、定住にもつながると言う俯瞰をもって取り組んで欲しいです。

そうした「視点」から、いくつかの「観光に関する」あるいは「観光に関係のある」事業について質問をしました。

PDCA（プラン・DO行動・ チェック・実行）

□一度、実施してもそれが計画どおりに効果が上がらないときには、再度検討しながら再構築していくべき。他所とはちょっと違う「プロジェクト型のふるさと納税」に取り組む時にも、状況、効果にあわせて動いていくべきではないかと思っています。

斜里には誇れる返礼品になり得る産物や商品があるのですから。

と、ふるさと納税に対する取り組みで意見を述べました。

行政の非正規職員の待遇改善

□臨時職員の雇用環境、雇用条件についてしっかり対応をとるべきだと思います。でなければ、マンパワー不足は解消できないし、安定した行政サービスも期待できません。

とても複雑化して事業量も多くなっている行政事業の中で、職員の負担は増えています。それを補っていくのが臨時職員。いくら臨時職員はなくしていくと言っても現実では必要な力です。

一部で改善もされていますが、全体的な整備はまだ必要です。



・ 斜里町議会でも議会のフェイスブックを始めます～

行政でのSNSの利用が増えています。斜里町でもフェイスブックを始めましたね。議会でも現在、始めようと準備が進んでいます。

「若い人や女性にも関心を持ってもらいたい」というのであれば、必要なことでしょう。委員会が開催される、あるいは研修会があるなど、議会に関係するさまざまな情報をオープンにすることが必要です。

自ら情報発信をしようと思わない限り、なかなか「はじめる」ことにはなりません。

できることから、順次スタートしていく事が必要です。



議会の
ありがた
特別委員会

・ 議会モニターと議員研修

議会モニターさんが決まり、研修や勉強会、そして議会傍聴などの活動が始まっています。これから、議会のありがた特別委員会で決めて行かなくてはならない事項に、どのような意見をだしていただき、あるいはいただいた感想をどのような形で取り込んで行くのでしょうか。

一方で、特別委員会設置当時から実施と言われていた「町民意向調査」が、スケジュール的にも、その調査結果で予測される内容からも、実施されない方向になるようです。

議員研修では、一般質問の力をつけるための講習が実施されました。

大学の先生を招いての研修は2日間。

さて、その結果はどうだったのでしょうか。

一般質問終了後に議会モニターさんの一般質問者への感想が北海道新聞に

掲載されていました。「質問と答弁がかみ合っていない部分があり・・・」と指摘されました。

また後日、インターネット中継を見て（聴いていた）モニターさんからも「ずいぶん長い演説のような前置きの質問もあったね」と。

改めて、質問で訴えたいこと、その展開など、しっかり考えながら取り組まなくてはならないと感じました。モニターさんとは一緒に一般質問の講義を受けていましたから、的確な感想を戴いたと思います。議会改革推進事業費は130万円の予算が計上されています。

成果を出さねば！



なかなか
ハラハラ
ドキドキ
です

今回 3月の一般質問で言いたかったこと

●竹富町・弘前市との交流に子どもたちの派遣をしてください

以前は毎年やっていましたね。それぞれに斜里町とのつながりを持つ地域へ子どもたちが派遣研修されることは大切で貴重なことです。ぜひ、毎年、継続派遣を検討するべきではないでしょうか？
役員や職員の懇親、物販販売も必要かもしれませんが、将来のまちづくりを担っていく子どもたちの参加を求めます。

町長答弁・・・平成30年度から実施に向けて検討します

●地域への配本など図書館機能のサービスを充実してください

現在も65歳以上の方で図書館に来られない方への宅配サービスを実施していますが、その利用は増えていますか？また、ウトロ地域への配本事業、郡部地域への配本についての課題や取り組みはどのように考えていますか？

教育長答弁・・・運営計画に沿って地域との協力連携もとして事業を推進対応していきます

●観光協会の事務所機能（企画対応・事業推進）はウトロに移すべきでは

観光動向変化のスピード、観光客のほとんどがやって来て、滞在するウトロ地域が観光の現場であり拠点です。観光事業、企画立案などは拠点である現場から取り組むべきではないでしょうか？そろそろ観光の中心拠点に観光協会機能全体を移転すべきでは？

町長答弁・・・確かに観光拠点はウトロ地域と思います。協会として議論を深めた上で整理すべきと思っています。



子どもたちにとってはかけがえのない経験になると思いますよ・・・

■議会では「一般質問」について大学の先生をお招きして研修をうけました。*かみ合わない質疑をさける*長々と演説をしない*陳情・お願いにはしない・・・2日間に渡った研修です。さて、結果はどうだった？
*詳しくは「議会広報」にも掲載、そちらも読んでみてください！

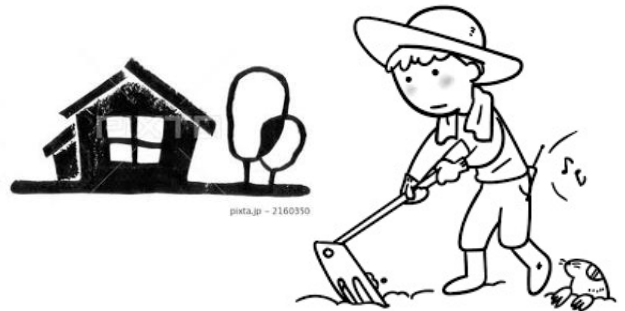
*** 春が 近づいては遠のく？ そんな天候ですが、新年度が始まります

また冬に逆戻り？な雪が降っています。今回の議会では、福祉・子育てに対する取り組みの充実を感じました。同時に、産業界にも、日常の暮らしにもITCの活用が不可欠になりつつあると感じました。これまで一般質問でも言ってきた「ピロリ菌」検査への公費助成が始まります。みなさん、積極的に検査にのぞんでください。私はお正月前後で飲み続けた「除菌薬」の効果がありピロリ菌除去に成功しました！でも、だからといって油断はできません。年に一度の検診はしっかり受診します。

年度末は移動の季節でもあります。毎月毎月の人口の動きを見て、ドキドキしますが、4月はもっとビクビクしますね。知床はとても魅力ある地域です。住んでいる私たち以上に、他所からの方々には魅力的な暮らしだと思えます。その、魅力を次の世代のためにもしっかりと探し出してグランドデザインとプランを立てることが大事だと思います。行政は町全体を意識しながらそうした事業に取り組む立場だと思います。そのために、何ができるのか。動きながら、動くものを見ながら感じながら・次世代の力になればと思いました。

* 私ごとですが、東京の義母が2月25日に亡くなりました。強かった義母から学んだことはたくさんあります。90年のすばらしい人生だったと思えます。

小さな畑になにを育てようか？雪融けが待ち遠しい毎日です。それでは次回は6月です。皆さんお元気で！



ツイッターとフェイスブックで情報発信しています。ブログも含めていただいたコメントにはお返事を差し上げています。そのためには、ぜひ返信ができるアドレス、お名前、連絡先をお願いします。●

文中の誤字脱字については、お許しください。校正が苦手です。あらかじめ、ごめんなさい・・・

■ ホームページみてください。 <http://akemichan.net/>
■ ブログ 「ふつう」の生活から <http://akemiburogu.sblo.jp/>
「桜井あけみ後援会」099-4351 斜里町ウトロ香川104

桜井あけみ 議会レポート
コメントを待っています。
メールは koe@akemichan.net へ